



平成 27 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 森脇 喜生
(TEL. 03-5792-8601)

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が 自社開発の次世代ネットワーク構築用ソフトウェアを発売開始

記

当社の連結子会社であるエヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：関根 尚、以下「NCLC」）は、次世代ネットワーク技術であるネットワーク仮想化を容易に構築できる自社開発ソフトウェアの発売を開始いたしましたので、添付の通りお知らせします。

当該ソフトウェアは NCLC がこれまで培った次世代ネットワーク構築のノウハウを製品化し、ネットワーク仮想化技術の普及を図ることを目的に開発したものです。ネットワーク仮想化の設定等は自動で行うことができ、ネットワーク仮想化技術の導入を容易にします。

NCLC は当該ソフトウェアの顧客向けカスタマイズにも対応します。

以 上

2015年2月25日
エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

NCLC、SDN によるネットワーク自動構築アプリケーションのリリースを開始

～ 自動構築、インテリジェント・パッチパネル等、商用 SDN アプリケーションをシリーズ化 ～

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 関根 尚、以下 NCLC)は、OpenFlow プロトコルに対応した自社開発 SDN アプリケーションの販売を開始します。

現在、SDN/SDI 市場へは様々な商品やサービス、フォーラムが提供されていますが、これらを導入するにはネットワークインフラシステムへの大規模な改修や追加投資、刷新が必要となる場合が多い状況にあり、SDN/SDI アプリケーションの導入が加速しない理由のひとつです。また、オープン系のシステム基盤が多く、商用サポートを受けられる製品が少ないこともあげられます。

この度、NCLC は今まで様々な SDN インテグレーションで培ってきた技術を投入し、ソフトウェアによるネットワーク定義を実現できる SDN の特性を活かしたアプリケーション群を販売することにいたしました。SDN で簡易に導入でき、低価格で商用サポートを提供できるアプリケーション群となっています。NCLC は、当該製品をシリーズ化し、様々な SDN/SDI アプリケーションを発売して参ります。

【リリースするアプリケーション群】

- ・ インテリジェント・パッチパネル「vPatch」
- ・ インテリジェント・パッチパネル・プロフェッショナル「vPatch 2」
- ・ アプライアンス型 OpenFlow コントローラ「OFC-VP1」、「OFC-VP2」
- ・ L2 ネットワーク自動運用 SDN ソフトウェア「SDN L2Manager」
- ・ L3 ネットワーク自動運用 SDN ソフトウェア「SDN L3Manager」

【アプリケーション詳細】

◆ インテリジェント・パッチパネル「vPatch」

「vPatch」は、一般的に利用されている物理的なパッチパネルの結線を、ダイナミックにリモートから変更可能なインテリジェントなパッチパネル環境を提供します。

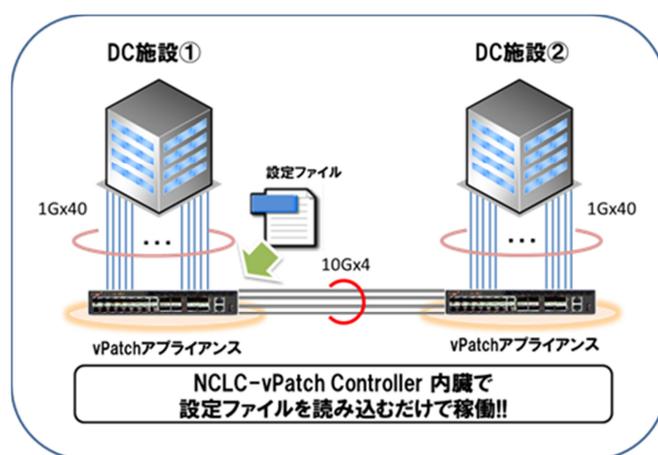
従来、パッチケーブル(光ファイバーケーブル、ツイストペアケーブル)の変更で実現していたネットワーク結線変更を SDN 制御部である NCLC 製「OpenFlow コントローラ タイプ R」からの命令(設定ファイル)により、簡単・確実に結線変更を実行することが可能です。

ローカルなパッチパネル環境を始め、物理的にオペレータから離れたパッチパネルの結線変更やデ

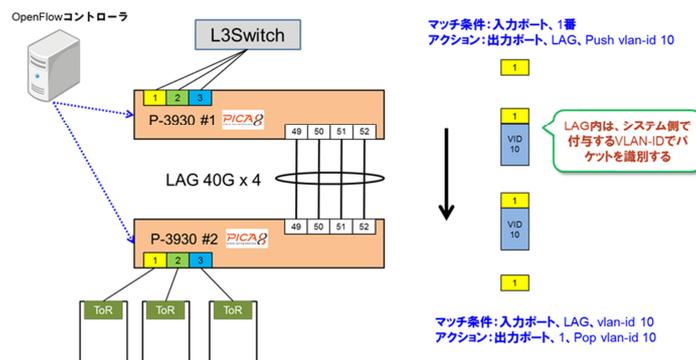
一タセンター建屋間のパッチパネル経路変更を瞬時に変更でき、人的リソースを削減することが可能です。また、パッチパネル間の通信をパケット単位で制御する方式を採用することでパッチパネル間の配線を大幅に削減することが可能です。例えば、パッチパネル間に接続される 4 対の光ファイバーケーブル上に 40 ポート分の 1 キガビットイーサネット通信をノンブロッキングで伝送させることにより、建屋間やフロア間の配線の削減が可能となります。

SDN 制御部は、サーバへインストールして使用方法とアプライアンスで提供される「OFC-VP1」(後述)を利用する方法をご用意しています。

パッチパネル部は OpenFlow プロトコル 1.3 を実装したネットワークスイッチを利用できます。現在は、米国 Pica8 社のペアマタルスイッチ対応 OS である「PicOS」搭載機器を動作保証しておりますが、Pica8 社製以外の OpenFlow スイッチでの動作検証も代行致します。



<「vPatch」導入ケース>



<「vPatch」動作概要>

◆ インテリジェント・パッチパネル・プロフェッショナル「vPatch 2」

「vPatch 2」は、「vPatch」の設定ファイルをCLI化し、操作性を向上させています。また、パケットペー

ス制御の特徴を活かし、通信データの統計情報収集機能や不要な通信を排除するフィルタリング機能、特定通信データを任意のポートへ複製する TAP 機能を搭載しており、キャプチャ装置等の通信経路に存在しないデバイスへ指定した全てのパケットを複製転送することが可能です。

「vPatch 2」は 2015 年 3 月下旬に販売開始予定です。

◆ アプライアンス型 OpenFlow コントローラ「OFC-VP1」、「OFC-VP2」

「vPatch」と「vPatch 2」を動作させる SDN 制御部はサーバ上で動作させることが可能ですが、OFC-VP シリーズは、より簡単な導入をご要望されるユーザ向けのアプライアンス製品です。

パッチパネル部であるネットワークスイッチを集線するポートと SDN 制御部が一体となり、インストールの手間が省け、機器交換時の時間を大幅に削減できます。



<OFC-VP シリーズ:アプライアンス型コントローラ>

◆ L2 ネットワーク自動運用 SDN ソフトウェア「SDN L2Manager」

「SDN L2Manager」は、ネットワーク機器設定からネットワーク機器障害時の経路復旧、交換時の設定追加までネットワークの専門知識がないユーザでも簡単にネットワーク機器の導入・運用が可能な L2 ネットワークの自動構築・運用ソフトウェアです。

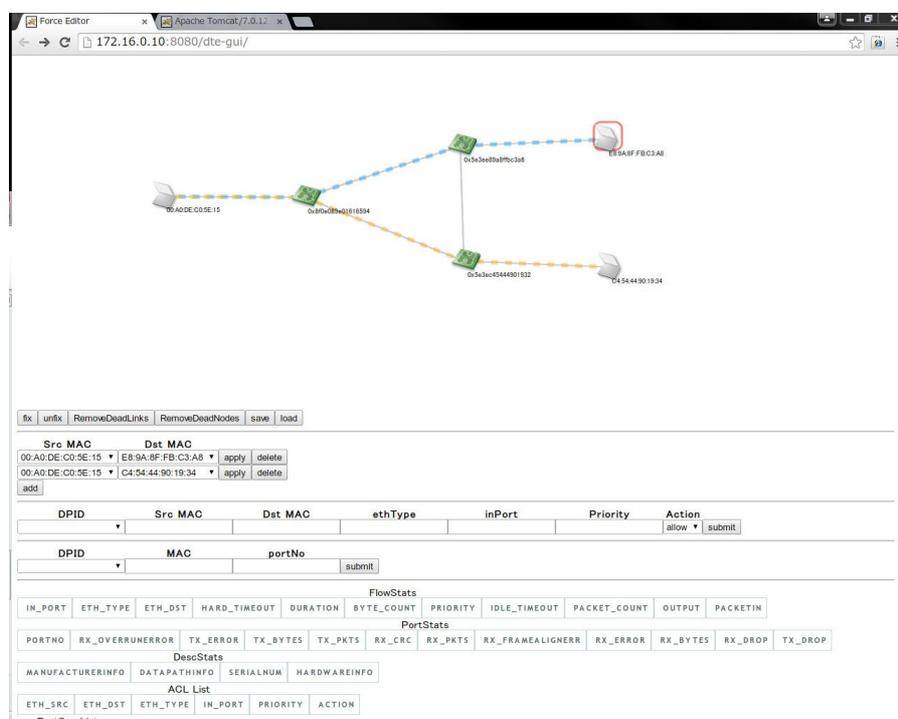
接続されたネットワーク機器は相互に通信し、SDN 制御部である NCLC 製「OpenFlow コントローラタイプ V」が構成情報を把握します。デスクトップ PC やサーバ間の経路上に複数の経路が存在する場合でも最短通信経路を自動的に検出し、通信を開始します。

設定情報、構成情報、通信経路、統計情報は、すべて専用の GUI で提供され、ネットワーク機器設定の専門知識は不要です。

また、ACLとポートセキュリティ機能を実装しており、ネットワークデバイス間の通信制御も GUI で簡単に設定が可能です。

ネットワーク機器の障害発生時も障害発生機器をコールドスタンバイ機器へ物理的に交換するだけで、接続されたネットワークスイッチ群は自動的に正常動作の構成へ復帰します。これにより、オンサイト機器交換サービス等に加入するために支払っていた保守コストを大幅に削減できます。

ネットワークスイッチは OpenFlow プロトコル 1.3 を実装したネットワークスイッチを利用できます。現在は、米国 Pica8 社のベアメタルスイッチ対応 OS である「PicOS」搭載機器を動作保証しておりますが、Pica8 社製以外の OpenFlow スイッチでの動作検証も代行致します。



<「SDN L2Manager」の操作画面>

◆ **「SDN L3Manager」**

「SDN L3Manager」は、「SDN L2Manager」の全機能にルーティング機能とマルチセグメント制御機能を追加した中・大規模ネットワーク向け SDN アプリケーションです。

「SDN L2Manager」のネットワーク機器保守費用や運用費用の削減はそのままに冗長化経路や接続ネットワークインターフェースの帯域を自動的にソフトウェアが判断し、効率的に利用できる L3 ネットワーク環境を提供します。

ネットワークスイッチは OpenFlow プロトコル 1.3 を実装したネットワークスイッチを利用できます。現在は、米国 Pica8 社のベアメタルスイッチ対応 OS である「PicOS」搭載機器を動作保証しておりますが、今後、対応スイッチを増やす予定です。

各製品は以下の業種・組織への販売を想定しております。

・「vPatch」, 「vPatch 2」, 「OFC-VP シリーズ」

通信キャリア、各種サービスプロバイダー、データセンター、学校、研究施設、製造。

・「SDN L2Manager」, 「SDN L3Manager」

企業、学校、研究施設、製造。

販売を開始する製品の一覧は下記のとおりです。

製品名称	機能概要	SDN 制御部	提供開始	オプション	提供価格 (税抜)
vPatch	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリジェント・パッチパネル機能 ・リンクの Up/Down 検出機能 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ R (※1)	本日	製品本体 初年度保守	29 万円
				「vPatch2」への無償 バージョンアップ権 付き	40 万円
				プログラムコード解 説コース付き (※2)	55 万円
vPatch 2	<ul style="list-style-type: none"> ・「vPatch」全機能 ・CLI 機能 (設定時) ・統計情報収集機能 ・TAP 機能 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ R (※1)	3 月	製品本体 初年度保守	59 万円
				プログラムコード解 説コース付き (※2)	88 万円
OFC-VP1 (※3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「vPatch」ソフトウェアを実装したア プライアンスモデル ・48x1GE (RJ-45) , 4x10GE (SFP+) ・二重化電源 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ R (※1)	本日	製品本体 初年度保守 (機器 は良品先出し機器 交換)	85 万円
OFC-VP2 (※3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「vPatch 2」ソフトウェアを実装したア プライアンスモデル ・48x1GE (RJ-45) , 4x10GE (SFP+) ・二重化電源 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ R (※1)	3 月	製品本体 初年度保守 (機器 は良品先出し機器 交換)	120 万円
SDN L2Manager	<ul style="list-style-type: none"> ・L2 ネットワーク自動構築機能 ・GUI オペレーション機能 ・自動最短経路検出機能 ・ACL 機能 ・ポートセキュリティ機能 ・障害時迂回機能 ・交換機器自動組込み機能 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ V (※4)	本日	製品本体 初年度保守	162 万円～
				「SDN L3Manager」 への無償バージョ ンアップ権付き	198 万円～
				プログラムコード解 説コース付き (※2)	190 万円～
SDN L3Manager	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDN L2Manager」全機能 ・L3 ネットワーク構築機能 ・マルチ L2 ネットワーク制御機能 	NCLC 製 OpenFlow コントローラ タイプ V (※4)	4 月	製品本体 初年度保守	220 万円～
				プログラムコード解 説コース付き (※2)	250 万円～

※1: 「Ryu SDN Framework」をベースとしています。

※2: 再販、開発パートナー様向けのプログラムです。詳細は窓口へお問合せください。

※3: 別途ご準備するサーバソフトウェアをインストールする場合は購入不要です。

※4: 「バーチャルネットワークコントローラ 3.0」をベースとしています。

また、各製品は、お客様のご要望に応じて有償でのカスタマイズも可能です。

今回の販売製品はソースコードも同梱致しますので、今後、SDN アプリケーションやサービス提供をするベンダーや自社開発能力を持つエンドユーザが自らカスタマイズを実施することもできます。

NCLC では、当該製品の再販パートナーも募集しております。

◇お問い合わせ先

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

〒150-6027 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F

基盤ソリューション事業部 営業部

TEL:03-5447-8512 E-mail: cloud-sales@nclc.co.jp

記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。